

あぶくま信用金庫は、
お客様・地域と共に未来へ歩んでまいります。

中期経営計画、単年度事業計画

●中期経営計画

あぶくま『支援力の強化と変革への挑戦』3カ年計画

～課題解決による地域経済の
力強い回復を目指して～

期間 令和3年4月～令和6年3月

当金庫の中期経営計画は、最重要課題を「取引先の資金繰りを支え、事業継続を徹底的に支援し、地域経済の回復に努めること」とし、目指すべき姿を「お客様とのリレーションシップを追求し、地域に根ざした協同組織金融機関として、会員、お客様、そして地域が抱える課題の解決に尽力し、その幸せづくりと地域社会全体の成長に貢献する」こととしております。

●令和5年度（2023年度）事業計画

令和5年度の事業計画では、下記の重点施策を強力に推進し、役職員一丸となって地域経済の力強い回復に全力で取り組んでまいります。

重点施策

- ①お客様の様々な課題解決を通じた本業支援力の強化および安定した収益確保
- ②デジタル化による営業力強化・業務の効率化とお客様へ新たな価値の提供
- ③持続可能な経営基盤の強化
- ④将来へ向けた店舗戦略等の検討
- ⑤「働き方改革」と「やりがい」による「働きがい」の向上
- ⑥金融犯罪防止への取り組み強化

特定震災特例経営強化計画

1. 中小規模の事業者に対する信用供与の円滑化
2. 被災者への信用供与及び支援
3. 被災地域における復興支援
4. その他地域経済の活性化

地方創生への取り組み

まちづくりに資する事業への寄附

当金庫では、地域密着総合連携協定を締結している市町村と連携した取り組みの推進、ならびにSDGsの達成に向けて企業版ふるさと納税を活用しております。



葛尾村

寄附対象事業 「葛尾村総合戦略推進事業」
(産業再生・活力づくり事業)

基盤整備事業をはじめとした営農再開支援、畜産業の再開に向けた支援、再生可能エネルギーの事業化の他、自然・農業・畜産業等の体験交流プログラム等、地域資源を活かした観光交流・観光関連産業などの振興等に活用されます。



新地町

寄附対象事業 「産業を振興し、安定した雇用をつくる事業」

地元企業や新たなビジネスの立ち上げ支援の他、農林水産業の担い手の育成、生産性の向上や付加価値化を図る事業に活用されます。



山元町

寄附対象事業 「山元町まち・ひと・しごと創生推進事業」

町民誰もが「山元町が好きだ」と心から実感でき、すべての人がいきいきと暮らし、愛にあふれるつながりを大切にするまちづくりを推進していきます。地域産業の競争力強化や移住定住の促進、子育て支援事業等に活用されます。



福島イノベーション・コースト構想の推進に関する連携協定の締結

当金庫は、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構様と「福島イノベーション・コースト構想の推進に関する連携協定」を令和4年10月1日に締結いたしました。福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。

当金庫は、信用金庫業界のネットワークを活用し、信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫を本連携の協力機関として位置付けその総合力により、福島イノベーション・コースト構想の取り組みを進展させてまいります。



地域とともに

コーポレートデータ

業績のご報告(資料編)

営業のご案内

●主な連携内容

①イノベ構想の推進に向けた産業集積の取組に関すること

- ・イノベ構想参画企業に対する金融面の協力
- ・双方のネットワークを活用したイノベ構想参画企業へ対するビジネスマッチング機会等の提供
- ・イノベ構想の各種優遇制度や成果等の周知・情報発信を通じたイノベ構想参画企業の増加に向けた協力

②イノベ構想を担う人材の確保及び育成に関すること

- ・イノベ構想参画企業の経営者向けにビジネスセミナーを実施するなど、地域の人材育成の取り組み

③イノベ構想に関連する交流人口の拡大に関すること

- ・イノベ機構、あぶくま信用金庫ともにそれぞれがかかわる交流人口拡大のためのイベント等の協力
- ・あぶくま信用金庫が発行する地域ガイドブック「福相双(ふくそうそう)」などをもとに、信用金庫業界のネットワークを活用して県内・県外から当該地域への視察、旅行客誘致などの集客

フードバンク事業などの生活支援

当金庫は大規模災害に備えて飲料水や無洗米などの災害用物資を備蓄しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、コロナ禍での生活支援やフードバンク事業などに活用していただきたいとの思いから、南相馬市社会福祉協議会様へ当金庫が備蓄していた無洗米を寄贈させていただきました。

今後も当金庫は、地域社会の貢献と食品ロス削減に向けた取り組みの一環として、SDGsの理念に基づく社会貢献活動に取り組んでまいります。



あぶしんマネースクールの開催

令和4年4月に成人年齢が引き下げられ、18歳からクレジットカード等の各種契約が単独でできるようになり、昨今金融リテラシーの向上が求められています。

当金庫では、地域の未来を担う子供たちに正しい金融知識を身に付けてもらおうと、営業地区内の高等学校、小学校それぞれでマネースクールを開催しました。今後も積極的に地域の金融教育について取り組んでまいります。



福島県立小高産業技術高等学校
(令和4年7月13日)



南相馬市立原町第一小学校
(令和4年11月14日)

SDGs への取り組み

福島県8信用金庫は、国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」の目指す理念に賛同し、2020年4月『SDGs共同宣言』を公表しました。

福島県8金庫『SDGs共同宣言』

福島県内の8金庫は、SDGsの目指す理念に賛同し地域社会の一員として各金庫の経営理念および地域特性を踏まえながら、福島県の地域経済の持続的発展に向け連携して取り組むことを宣言します。



SDGs活動方針

地域経済

- 経営支援、創業支援、事業承継支援、ビジネスマッチ等への取組
- クラウドファンディング運営企業との連携による資金調達の提供
- 中小企業者に対する融資商品「地域創生支援ローン」の取扱
- 信金中金と連携したキャッシュレス決済機能の推進
- 保証協会・信金中央金庫との連携による勉強会の実施

SDGs目標



地域社会

- 福島県しんきんゼロネットサービスの取組
- 特殊詐欺被害防止への取組
- 高齢化社会に向けた各種相談会の実施と「後見支援預金」の取扱
- 「子供の安全・安心ふくしまネットワーク」への協力（警察との連携強化）
- 地公体・企業との包括連携協定の締結による取引先の成長と地域経済の活性化
- 子供たちの金融教育支援「マネースクール」の実施
- 子供の未来応援国民運動への参加（古本募金、職員募金活動の実施）



地域環境

- 地球温暖化防止対策推進のため「福島議定書」への参加
- 一斉クリーン作戦の共同実施
- クールビズ・ウォームビズの共同実施
- 災害用備蓄品の配備
- ペーパーレス化への取組



『SDGs支援ローン』提供開始

福島県内の8金庫は、持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みを支援する融資商品「SDGs サポートローン」を提供しております。当金庫でも2022年11月1日より「あぶしん SDGs サポートローン」の提供を開始しました。中小企業や個人事業主がエコカー導入や再生可能エネルギー施設設置など、SDGsにつながる用途に限定した商品です。県内8信用金庫が一丸となり、SDGsの普及に努めてまいります。

【商品概要】

ご利用いただける方	当金庫営業地区内の法人または個人事業主で当金庫会員の方。
お 使 い み ち	SDGsの目標達成に向けた取り組みに必要な運転資金・設備資金。
ご 融 資 金 額	2,000万円以内（1万円単位）
ご 融 資 期 間	10年以内 ※元金均等据置期間は融資期間に含まれます。
ご 融 資 利 率	固定金利 年 1.90%
ご 返 済 方 法	元金均等分割返済（1年以内の元金据置可）
保 証 人・担 保	審査により必要となる場合がございます。
手 数 料	当金庫所定の手数料をご負担いただきます。

（注）※お申込に際しては、当金庫所定の審査をさせていただきます。なお、審査の結果、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。



地域貢献の取り組み

取り組み事例1

災害発生時の減災に向けた
植樹活動



令和4年6月5日、南相馬市小高区塚原地内で行われた「第10回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」に参加しました。

取り組み事例2

脱炭素社会の実現に
向けた取り組み



令和4年6月、トヨタ自動車の燃料電池自動車「MIRAI」を小高支店、浪江支店に導入しました。

取り組み事例3

各種地域行事への積極的な参加



国の重要無形民俗文化財に指定されている「相馬野馬追」の開催に役立ててもらおうと、相馬野馬追執行委員会に協賛金を寄附しました。



相馬野馬追盆踊りパレードへ参加



小高秋祭りへ参加



相馬野馬追御行列へ参加

取り組み事例4

スポーツ振興による地域貢献



第6回あぶくま信用金庫杯パークゴルフ大会（令和4年7月14日）南相馬市パークゴルフ場



第1回あぶくま信用金庫理事長杯パークゴルフ飯館大会（令和4年8月28日）いいたてパークゴルフ場



第2回あぶくま信用金庫杯争奪学童野球大会（令和5年3月18日～19日）南相馬市北新田野球場 他



業績ハイライト

預金・貸出金の状況

預金積金

令和4年度 預金積金残高 **3,047億円**

預金積金残高は、対前年度比16億円増加し、3,047億68百万円となりました。

預金積金残高の推移

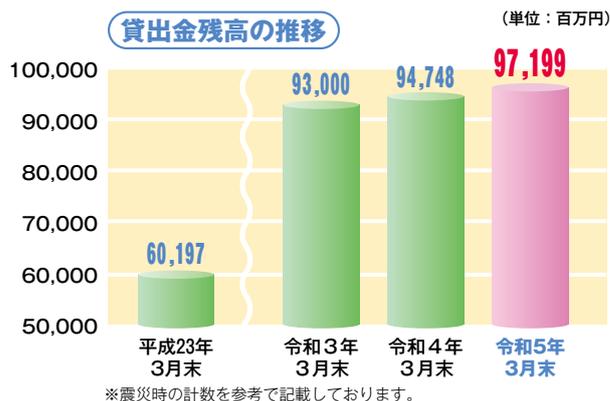


貸出金

令和4年度 貸出金残高 **971億円**

貸出金は地域の資金ニーズを積極的に開拓した結果、対前年度末比24億円増加し、971億99百万円となりました。

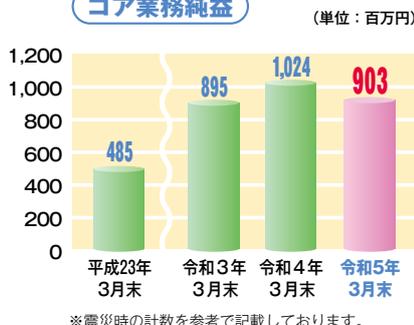
貸出金残高の推移



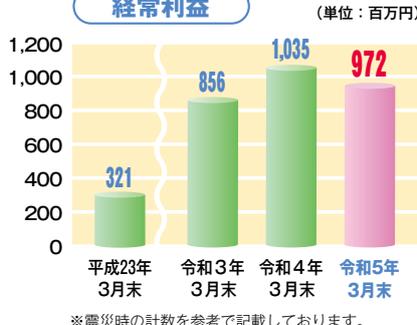
損益の状況

令和4年度の業績は、おかげさまで当期純利益で、**7億1千8百万円**を計上することができました。

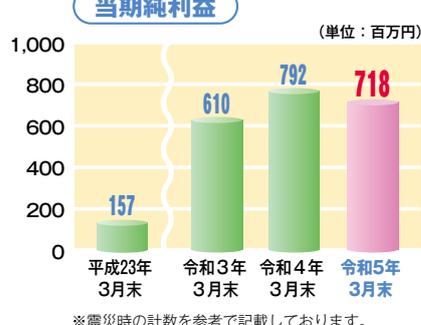
コア業務純益



経常利益



当期純利益



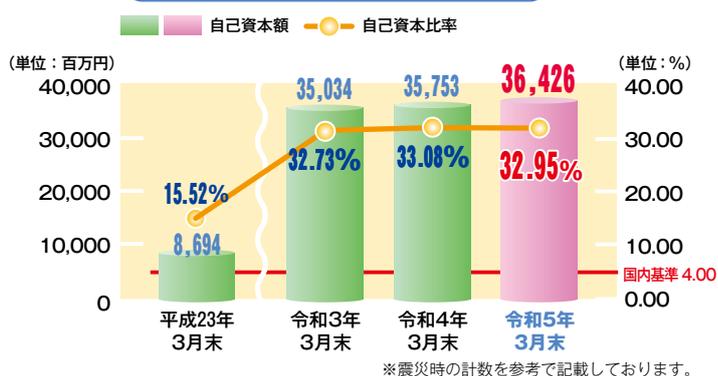
自己資本の状況

令和4年度の自己資本額は、利益の積上げにより**364億2千6百万円**となり、財務基盤は万全となっております。
また自己資本比率は、国内基準である4%を上回る**32.95%**となっております。

自己資本比率について

優先出資（公的資金）を除いた自己資本比率は14.85%*です。
※自己資本額 364 億円より優先出資総額 200 億円を控除し算出

自己資本額・自己資本比率の推移





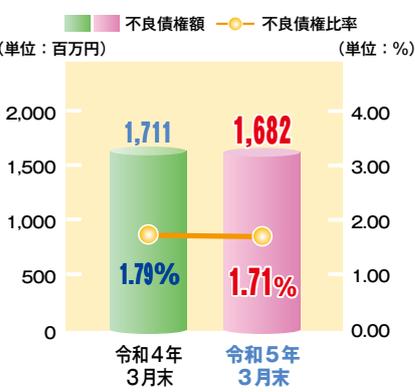
開示債権の状況についてのご報告です。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和4年3月	324	324	112	212	100.00%	100.00%
	令和5年3月	419	419	175	244	100.00%	100.00%
危険債権	令和4年3月	795	772	347	425	97.14%	94.93%
	令和5年3月	608	576	220	355	94.78%	91.83%
要管理債権	令和4年3月	591	468	418	50	79.26%	29.00%
	令和5年3月	654	471	403	67	72.04%	26.93%
三月以上延滞債権	令和4年3月	0	0	0	0	71.63%	23.00%
	令和5年3月	1	0	0	0	14.50%	10.76%
貸出条件緩和債権	令和4年3月	590	468	418	50	79.26%	29.01%
	令和5年3月	652	471	403	67	72.17%	27.02%
小計 (A)	令和4年3月	1,711	1,566	877	688	91.50%	82.56%
	令和5年3月	1,682	1,467	800	667	87.24%	75.68%
正常債権 (B)	令和4年3月	94,121	—	—	—	—	—
	令和5年3月	96,586	—	—	—	—	—
総与信残高 (A) + (B)	令和4年3月	95,833	—	—	—	—	—
	令和5年3月	98,268	—	—	—	—	—

不良債権額及び不良債権比率の状況



経営改善支援

令和4年度経営改善支援先の取り組み実績

当金庫では、取引先企業の経営目標や経営課題の解決に向けて、外部専門機関とも連携し、各ステージに合わせたコンサルティング機能を発揮し、最適な提案を行うことにより支援を図っております。

(単位：先数、%)

債務者区分	期初債務者数	うち経営改善支援取組先	aのうち期末に区分が上昇した先	aのうち期末に区分が変化しなかった先	aのうち経営改善計画を策定した先	経営改善支援取組率	ランクアップ率	経営改善計画策定率
	A							
正常先	678	1	—	1	1	0.1%	0.0%	100.0%
その他要注意先	268	17	—	17	16	6.3%	0.0%	94.1%
要管理先	9	2	—	2	2	22.2%	0.0%	100.0%
破綻懸念先	13	2	—	1	2	15.3%	0.0%	100.0%
実質破綻先	8	—	—	—	—	0.0%	—	—
破綻先	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	976	22	—	21	21	2.2%	0.0%	95.4%

(注)みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。

経営者保証に関するガイドライン

経営者保証に関するガイドラインへの取り組み状況

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業継承時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からのお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

項目	令和4年度
新規に無保証で融資した件数	105件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	21.38%
保証契約を解除した件数	9件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件

地域とともに

コーポレートデータ

業績のご報告 (資料編)

営業のご案内

お客様への支援活動

当金庫では、「地域密着型金融の取組みを強化し、地域経済の活性化に全力で取り組む」ことを基本方針とし、さまざまな視点から支援を行っております。

中小企業への支援

販路拡大支援

当金庫では、全国の信用金庫ネットワークを活かし、お取引先の販路開拓や新規仕入先発掘等の支援を行っております。株式会社リビングロボット様は、プログラミング学習用ロボット等の開発・製造業として2018年に東京で設立されました。翌年に本社を伊達市に移し、2020年には南相馬市の福島ロボットテストフィールドに、ソフトウェア開発を中心とする研究拠点を設けました。

開発したプログラミング学習用ロボット「あるくメカトロウィーゴ」は、2020年度に伊達市の小中学校に導入以降、南相馬市、川俣町などでプログラミング授業に取り入れられ、体験学習や出前授業でも県内各地で利用されています。当金庫でも本店営業部と東支店の窓口にメカトロウィーゴを設置し、来店者の方々の癒しとなっております。現在は人々とロボットが共生する社会を実現しようと、介護分野に応用した「見守りロボット」の実証実験に力を注いでおります。



ビジネスマッチ東北2022秋 参加



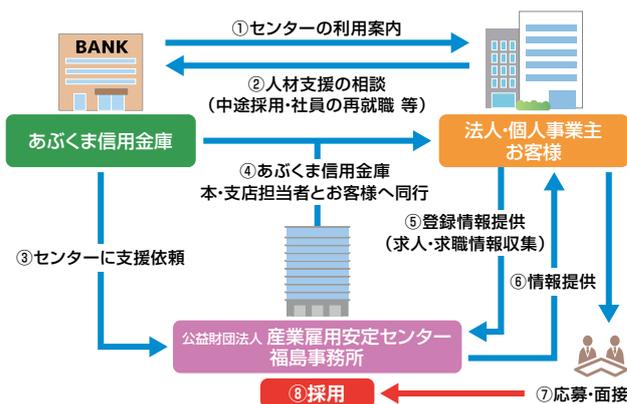
本店営業部窓口に設置されたメカトロウィーゴ

人材確保支援

当金庫は、各産業分野の人材不足問題が深刻化している現状において、公益財団法人産業雇用安定センター福島事務所様と相互連携を図るため、連携協定を締結いたしました。この連携協定は、取引先事業者等の人材ニーズに対する支援を推進し、地域における労働力供給の安定、持続的な企業の成長と地域経済の発展に資することを目的としております。取引先の経営課題に向けた「本業支援」に取り組み、地域の中小企業・小規模事業者の事業発展・継続を積極的に支援してまいります。



【参考】人材支援に関するフロー



デジタルサービス支援

当金庫は、令和4年10月より中小企業のデジタル化を支援する信用金庫業界独自のポータルサイト「ケイエール」の提供を開始いたしました。「ケイエール」では複数金融機関の口座残高や入出金履歴の一括管理が可能となるほか、ポータル上から相談できる「経営相談窓口」を設置するなど幅広いニーズに対応いたします。当金庫は引き続き地域中小企業のDX化を全力でサポートいたします。

主な機能

- ① 資金繰り把握
- ② 電子請求書対応
- ③ 電子ファイル共有・保存
- 等

あぶくま信金
ケイエール▶





令和4年度 主なトピックス

令和4年4月から令和5年3月までの、あぶくま信用金庫の主な活動をご紹介します。

令和4年	
5月19日	・葛尾村との地域密着総合連携協定の締結 ・葛尾村への企業版ふるさと納税を活用した寄附
6月5日	・南相馬市鎮魂復興市民植樹祭への参加
6月7日	・相馬野馬追執行委員会への協賛
6月16日	・第72期通常総代会の開催
7月5日	・第3回あぶしん資産運用セミナー開催
7月6日	・災害備蓄用無洗米を南相馬市社会福祉協議会へ寄附
7月13日	・あぶしんマネーハイスクールの開催 (福島県立小高産業技術高等学校)
7月14日	・第6回あぶくま信用金庫杯パークゴルフ大会の開催
7月24日	・相馬野馬追御行列への参加
7月26日	・高校生職場見学受入
8月29日	・新地町への企業版ふるさと納税を活用した寄附
8月30日	・公益財団法人産業雇用安定センター福島事務所と連携協定締結
9月28日 ～29日	・中学生職場見学受入
10月1日	・公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構と連携協定締結
10月1日 ～2日	・Out of KidZania in ふくしま相双2022への参加
10月4日	・あぶしんオンラインセミナーの開催 ・飯館支店開設40周年



10月12日	・福島県内信用金庫一斉クリーン作戦の実施
11月1日	・福島県8金庫「SDGs支援ローン」提供開始
11月6日	・2022 ツール・ド・かつらお ～第8回福島民報杯～ にボランティア参加
11月10日	・ビジネスマッチ東北2022 秋参加
11月14日	・あぶしんマネースクールの開催 (南相馬市立原町第一小学校)
12月6日 ～7日	・2022 よい仕事おこしフェア参加
12月22日	・営業店窓口支援システム(タブレット)導入



令和5年	
2月6日	・第7回あぶしん金融セミナー開催
2月7日	・山元町との地域密着総合連携協定の締結 ・山元町への企業版ふるさと納税を活用した寄附
2月8日	・災害備蓄用無洗米を南相馬市社会福祉協議会へ寄附
3月6日	・第4回あぶしん資産運用セミナー開催
3月18日 ～19日	・第2回あぶくま信用金庫杯争奪学童野球大会開催

オンラインセミナーの開催

当金庫では金融・経済情勢など様々なテーマのオンラインセミナーを開催しております。



講師：財務省 東北財務局福島財務事務所 所長 橋本 和久氏

第3回あぶしん資産運用セミナー(令和4年7月5日)

「当面の投資環境と運用戦略」

講師：三菱UFJモルガン・スタンレー証券 藤戸 則弘氏

あぶしんオンラインセミナー(令和4年10月4日)

「インボイス制度の概要」

講師：相馬税務署 法人課税第一部門 統括国税調査官 平野 徳明氏

第7回あぶしん金融セミナー(令和5年2月6日)

「最近の金融・経済情勢について～東北地方を中心に～」

講師：財務省 東北財務局福島財務事務所 所長 橋本 和久氏

第4回あぶしん資産運用セミナー(令和5年3月6日)

「国内外の政治経済マーケット情勢と為替展望」

講師：三菱UFJモルガン・スタンレー証券 植野 大作氏

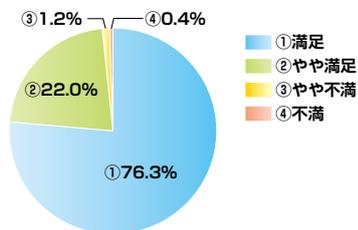
お客様の利便性向上のために

あぶくま信用金庫では、皆様から愛される金融機関を目指し、毎年「お客様アンケート」を実施しております。令和4年度も、多くのお客様から貴重なご意見・ご要望を頂戴することができました。お客様の声を真摯に受け止め、より一層の金融サービス向上に向けて努力してまいりますので、今後ご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

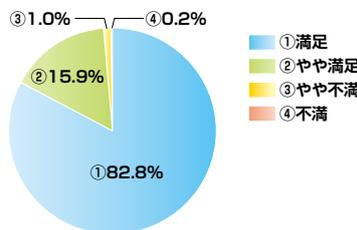
お客様アンケートの調査結果について

調査対象：窓口ご来店のお客様および渉外担当者による訪問先
 調査方法：無記名による回収箱への投函および渉外担当者による回収
 実施時期：令和5年1月～令和5年3月
 回答数：490件

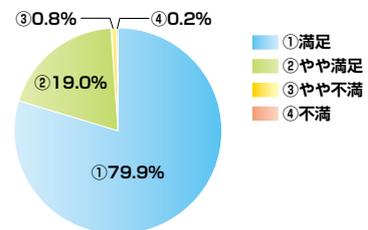
1. 当金庫の各種業務、サービス等の提供について、総合的な評価はいかがですか？



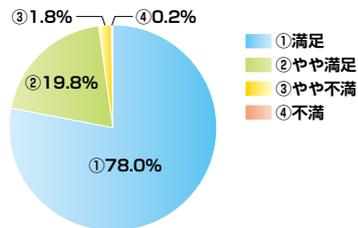
2. 窓口・渉外担当者は、明るい笑顔とめくもりのある挨拶で対応していますか？



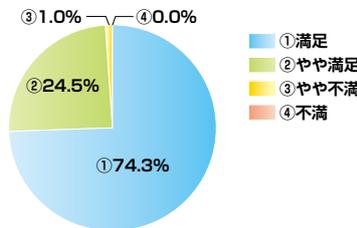
3. 当金庫職員は、ご相談・ご質問について誠意をもって対応をしていますか？



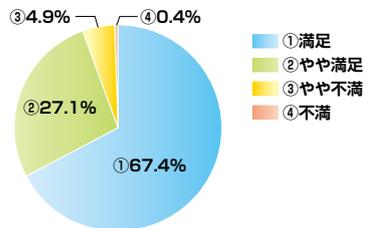
4. ご来店時の待ち時間はいかがですか？または、渉外担当者のご訪問の際の時間や約束事は守られていますか？



5. 商品内容等について、分かりやすく説明していますか？



6. ATMの機能や稼働時間はいかがですか？



※比率は切り捨てにて表示しております。合計が一致しない場合があります。

お客様からのご意見・ご要望

- ATMで硬貨の入出金や両替ができてほしい。
- いつお伺いしても、皆さん笑顔で対応してくださるので、こちらまで明るい気持ちになれます。
- 明るくきれいな雰囲気だと思います。ロボットの展示など南相馬市ならではの取り組みも良いなと思っています。

これまでの改善事例に対するお客様のご意見・これまでの取り組み事例

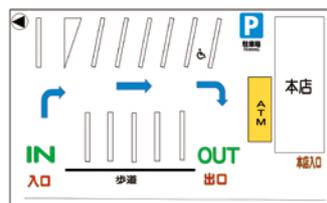
改善事例1 ローカウンターの設置



浪江支店

● 座って待っていられて最後まで対応してくれるのも足の悪い人には有難い。(2019年お客様アンケートより)

改善事例2 駐車場の整備



● 駐車場が狭いので苦勞することがあります。(2019年お客様アンケートより)

➡ 2019年10月、本店営業部駐車場のレイアウト変更により利便性が向上

頂戴したご意見・ご要望をもとに、お客様の利便性向上に努めてまいります。



デジタル化への対応

窓口支援システム(タブレット)の導入

当金庫は、令和4年12月より営業店窓口支援システム(タブレット)を本店営業部より順次全店に導入いたしました。同システムは、店頭に設置したタブレット端末をお客様と当金庫職員が操作することで、入出金時等の伝票記入が不要となり、お客様の負担軽減や待ち時間の短縮などにつながるシステムです。お客様の利便性向上やペーパーレス化による環境負荷の軽減に取り組んでまいります。



あぶしん通帳アプリの機能追加

「あぶしん通帳アプリ」に新機能が追加になり、さらに使いやすくなりました。

あぶしん通帳アプリは、いつでもどこでも、入出金明細や残高をスマホで確認できる、紙の通帳を発行しないサービスです。



あぶしん通帳アプリの特徴

- 最大5つまでの口座登録
- ① 最長10年分の入出金明細の閲覧
- ② 保有資産の照会
- ③ 総合口座担保定期預金の預け入れ・解約(個人のお客様)
- ④ 住所、電話番号の変更手続き
- ⑤ 通帳、キャッシュカード紛失の際の喪失手続き

令和4年
12月19日
追加機能

年月日	お取引内容	お支払金額	お預り金額	残引残高	メモ
2022-04-01	ATM振替	15,000円		18,800円	
2022-05-02	定期繰上	5,000円	15,000円	5,800円	
2022-05-02	定期繰上	10,000円	3,300円	6,800円	
2022-06-27	ATM振替	15,000円		18,800円	

「あぶしん通帳アプリ」をはじめてお申し込みのお客様に

1,000円プレゼント

キャンペーン期間

令和5年2月1日(水)～
令和6年3月31日(日)

※プレゼントはお申込みいただいた口座に入金します。
※確定申告が必要になる場合がございます。

アプリを
ダウンロード



しんきん通帳 検索

「PayPay」との口座連携開始

当金庫ではPayPay株式会社が提供するキャッシュレス決済サービス「PayPay」に当金庫の預金口座から即時にチャージできるサービスを令和5年7月11日より開始いたしました。当金庫に預金口座をお持ちのお客様は、「PayPay」で本人確認を行い、口座番号などの口座情報を登録することで、当金庫の預金口座から即時にPayPay残高をチャージすることが可能になります。

移動相談会の取り組み

東日本大震災および福島第一原発事故により被災されているお客様からの各種ご相談・お問い合わせ等に対応するため業務推進部内に「お客様サポート室」を設置し、同室のメンバーを中心に移動相談会を開催しております。

開催場所	開始年月	受付時間	開催日	受付人員	業務内容
福島市 県営北沢又団地集会所	平成25年5月	10:00～12:00	毎週 火曜日	2名	1. 相談業務 ・ 既往貸付の返済、条件変更、新規貸付 ・ 各種相談 2. 事務関連業務 ・ 預金の取次ぎ ・ 通帳・カード等の再発行 ・ その他
二本松市 石倉団地集会所	平成25年5月	10:00～12:00	毎週 木曜日	2名	
郡山市 復興公営住宅東原団地 1号棟集会所	令和2年4月	10:30～12:30	毎週 木曜日	2名	

人材育成・働き方改革

人材育成制度

お客様へ質の高い金融サービスを提供できるよう、各種研修や資格取得による職員の能力向上に努めております。

■ 新入職員研修

新入職員一人一人に指導員(先輩職員)を選任し、きめ細かな指導のもと信用金庫人としての育成を行っております。

■ 外部講師による研修

人材教育の一環として外部団体主催のWeb研修や外部講師を招いての集合研修を行っております。



■ 資格取得の奨励

各種通信講座や資格試験の受験を奨励し、試験合格者には奨励金を支給して、スキルアップに対する支援を行っております。

〈当金庫職員の主な保有資格〉

- 中小企業診断士
- 証券アナリスト
- 宅地建物取引士
- 1級ファイナンシャル・プランニング技能士
- 2級ファイナンシャル・プランニング技能士

■ eラーニングシステム

職員の自己研鑽を支援する取り組みとして、信金中央金庫が提供するSels(eラーニングシステム)を導入しております。職員の知識習得・意識向上により、質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

また、育児休暇を取得した職員への職場復帰時の支援策としても活用しています。

ワークライフバランスの取り組み

当金庫は、職員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい環境づくりに取り組んでおります。

- イクボス宣言の公表
- 健康増進(人間ドック・脳ドック検診の助成)
- ストレスチェック実施によるメンタルヘルスのケア
- 奨学金返済支援制度の導入

職員一人当たり
平均有給休暇取得日数
(2022年度)



19.41日

職員月平均
所定外労働時間
(2022年度)



1.53時間

職員平均勤続年数
(2023年3月末)



15年
9ヵ月

職員平均年齢
(2023年3月末)



職員全体 38歳6ヵ月
男性 43歳3ヵ月
女性 32歳2ヵ月

育児休業
取得者数・比率
(2022年度)



女性6名 取得率100%
男性5名 取得率100%

女性役席者数・
比率(主任以上)
(2023年3月末)



女性役席者 28名
比率 34.56%



主な事業の内容

業務の種類

1. 預金および定期積金の受入れ
2. 資金の貸付および手形の割引
3. 為替取引
4. 上記1.～3.の業務に付随する次に掲げる業務
その他の業務
 - (1) 債務の保証または手形の引受け
 - (2) 有価証券((5)に規定する証書をもって表示される金銭債権に該当するものおよび短期社債等を除く。)の売買(有価証券関連デリバティブ取引に該当するものを除く。)または有価証券関連デリバティブ取引(投資の目的をもってするものに限る。)
 - (3) 有価証券の貸付け
 - (4) 国債証券、地方債証券もしくは政府保証債券(以下「国債証券等」という。)の引受け(売出しの目的をもってするものを除く。)ならびに当該引受けに係る国債証券等の募集の取扱いおよびはね返り玉の買取り
 - (5) 金銭債権の取得または譲渡およびこれに付随する業務(除く商品投資受益権証書の取得・譲渡に係る付随業務)
 - (6) 短期社債等の取得または譲渡
 - (7) 次に掲げる者の業務の代理
 - 株式会社日本政策金融公庫
 - 独立行政法人住宅金融支援機構
 - 年金積立金管理運用独立行政法人
 - 独立行政法人勤労者退職金共済機構
 - 独立行政法人農林漁業信用基金
 - 漁業信用基金協会
 - 独立行政法人中小企業基盤整備機構
 - 一般社団法人しんきん保証基金
 - 日本銀行
 - 独立行政法人福祉医療機構
 - (8) 次に掲げる者の業務の代理または媒介(内閣総理大臣が定めるものに限る。)
 - イ. 金庫(信用金庫および信用金庫連合会)
 - (9) 信託会社または信託業務を営む金融機関の業務の媒介(内閣総理大臣が定めるものに限る。)
 - 信金中央金庫
 - (10) 国、地方公共団体、会社等の金銭の収納その他金銭に係る事務の取扱い

- (11) 有価証券、貴金属その他の物品の保護預かり
 - (12) 振替業
 - (13) 両替
 - (14) デリバティブ取引(有価証券関連デリバティブ取引に該当するものを除く。)であって信用金庫法施行規則で定めるもの((5)に掲げる業務に該当するものを除く。)
 - (15) 金融等デリバティブ取引((5)及び(14)に掲げる業務に該当するものを除く。)
 - (16) 地域活性化等業務(信用金庫法施行規則で定めるもの)
5. 国債証券、地方債証券、政府保証債券その他の有価証券について金融商品取引法により信用金庫が営むことのできる業務
(上記4.により行う業務を除く。)
 6. 法律により信用金庫が営むことのできる業務
 - (1) 保険業法(平成7年法律第105号)第275条第1項により行う保険募集
 - (2) 高齢者の居住の安定確保に関する法律(平成13年法律第26号)の定めるところにより、高齢者居住支援センターからの委託を受けて行う債務保証の申込の受付および保証債務履行時の事務等(債務の保証の決定及び求償権の管理回収業務を除く。)
 - (3) 電子記録債権法(平成19年法律第102号)第58条第2項の定めるところにより、電子債権記録機関の委託を受けて行う電子債権記録業に係る業務
 - (4) 確定拠出年金法(平成13年法律第88号)により行う業務



内部管理態勢

内部統制基本方針

経営方針に則り、業務の健全性・適切性を確保するための態勢整備に係る内部統制基本方針を定め、有効に機能させることで適切な経営管理（ガバナンス）態勢を構築してまいります。

業務の健全性・適切性を確保するための態勢

当金庫は、業務の有効性及び効率性、財務報告の信頼性、事業活動に関わる法令等の遵守、資産保全の目的を達成するため、信用金庫法第36条第5項第5号及び同法施行規則第23条の

規程に基づき「内部統制基本方針」を定め、その態勢整備により「業務の健全性・適切性を確保」することとし、本方針に従って継続的に整備を進め、その実効性確保に努めてまいります。

内部統制基本方針

- ① 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- ② 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 監事がその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
- ⑥ 前号の監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性及び当該職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑦ 理事及び職員が監事に報告をするための体制
- ⑧ 前号の報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑨ 監事の職務の執行について生じる費用の前払い、または償還の手続き、その他の当該職務の執行について生じる費用または債務の処理に係る方針に関する事項
- ⑩ その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

コンプライアンス態勢

社会的責任と公共的使命を全うするための、全ての業務における共通の規範がコンプライアンスであると考え、役職員一人ひとりが高い倫理観を持って行動し、地域の皆様から信頼され支持されるよう努めております。

コンプライアンス(法令等遵守)への取り組み

当金庫は、地域金融機関としての社会的責任（CSR）と公共的使命を常に自覚し、金融取引における法令、ルール、社会的規範を遵守し、健全・堅実な業務運営に努めております。

また、当金庫が今後とも将来にわたり、地域の皆様から信頼され支持されていくためには、役職員一人ひとりが高い倫理感を持って行動しなければならないと認識しております。組織的遵守態勢としては、本部に統括部署を設置、さらには本部各部及び営業部に「コンプライアンス責任者」を配

置し、日常業務における法令等遵守のチェックならびに教育指導を実施しており、各部店内におけるコンプライアンスの周知徹底に努めております。さらに、公益通報者保護法施行に伴い、不正行為等の早期発見と是正を目的に内部通報制度に関する規程等を定め、コンプライアンス態勢を強化しております。

今後もより一層のコンプライアンスに基づく行動を徹底し、信頼され選ばれる金融機関として取り組んでまいります。

コンプライアンス・プログラム

コンプライアンスに係る諸規程の整備、職員のコンプライアンス研修計画等、コンプライアンスを実現させるための実践計画で単年度更新されます。

- ① 各種研修会等の機会を通じ、コンプライアンスの啓蒙に努めます。
- ② 臨店指導を実施し、法令等遵守状況等の検証をします。
- ③ 原則として毎月1回以上勉強会を実施し、認識の強化を図ります。
- ④ 本部関係部署と連携を密にし、年4回研修会を実施します。
- ⑤ コンプライアンス・オフィサー認定取得を推進します。
- ⑥ 苦情・クレーム等の発生要因を分析し、結果をフィードバックし、再発防止を図ります。
- ⑦ 年2回定期的に、コンプライアンス定期チェックを実施します。
- ⑧ リーガルチェックの徹底・強化を図ります。
- ⑨ マネー・ローンタリング及びテロ資金供与対策の周知徹底を図ります。
- ⑩ 外国口座税務コンプライアンス法（FATCA）の周知徹底を図ります。
- ⑪ マイナンバー制度の厳格な取扱いの周知徹底を図ります。
- ⑫ 優越的地位濫用防止の周知を図ります。
- ⑬ 利益相反取引の周知を図ります。
- ⑭ 「コンプライアンス6カ条誓約」カード・「交通事故を起こしたら」カードを携帯し、遵法精神の涵養を図ります。

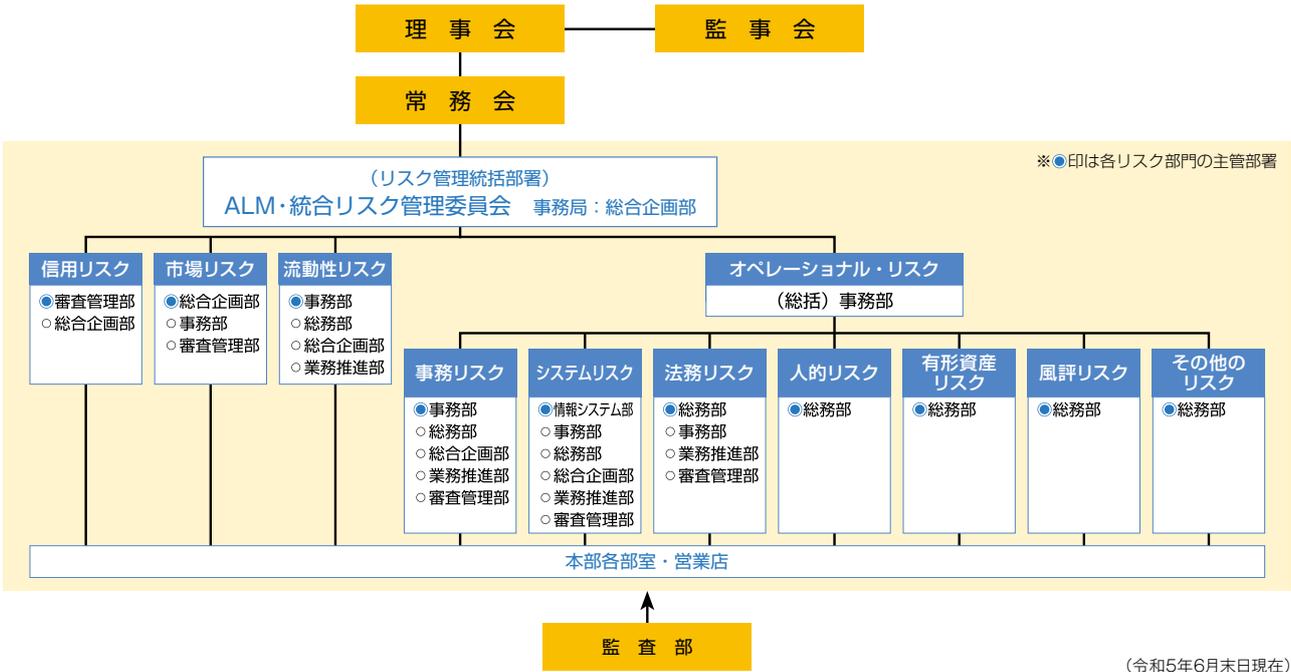


リスク管理態勢

金融の自由化、国際化の進展や規制緩和による金融技術の発展など環境の変化によって、金融機関の業務はますます多様化、複雑化しており、直面するリスクは量的にも質的にも大きく変容しています。こうしたなか、当金庫では、リスク管理を最重要課題と位置づけ、規程、要領の整備を

強化するとともに、様々なリスクに対して的確に対応できる管理態勢の構築を図るため統一的リスク管理統括部署として、ALM・統合リスク管理委員会を設置し、経営の健全性の維持向上に努めております。

■ リスク管理体制組織図



■ 対象とするリスク

リスクカテゴリー	リスクの説明
信用リスク	信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランスを含む）の価値が減少ないし消滅し、当金庫が損失を被るリスクをいいます。
市場リスク	市場リスクとは、金利、為替、株式等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフ・バランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいいます。 ●金利リスク 金利変動に伴い損失を被るリスクで、資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下ないし損失を被るリスク。 ●価格変動リスク 有価証券等の価格の変動に伴って資産価格が減少するリスク。 ●為替リスク 外国為替相場の変動によって、外貨建資産の円換算での資産価値が変動するリスク。
流動性リスク	流動性リスクとは、市場流動性リスクと資金繰りリスクをいいます。 ●市場流動性リスク 市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクをいいます。 ●資金繰りリスク 当金庫の財務内容の悪化等により必要な資金が確保できなくなり、資金繰りがつかなくなる場合や、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクをいいます。
オペレーショナルリスク	オペレーショナルリスクとは、信用リスク、市場リスク及び流動性リスクに分類されない他の全てのリスクとし、様々な人為的または技術的エラーによって生じる損失を被るリスクをいいます。 ●事務リスク 役職員が正確な事務を怠る、あるいは、事故・不正等を起こすことにより当金庫が損失を被るリスクをいいます。 ●システムリスク コンピュータシステムの障害または誤作動、システムの不備、不正利用等により当金庫が損失を被るリスクをいいます。 ●法務リスク 当金庫の経営や顧客との取引等において、法令や庫内規程等に違反する行為ならびにその恐れのある行為が発生することにより、当金庫の信用失墜や法的責任追及を招き損失を被るリスクをいいます。 ●人的リスク 人事運営上の不公平・不正（報酬・手当・解雇等の問題）・差別的行為（セクシュアルハラスメント等）から生じる損失・損害を被るリスクをいいます。 ●有形資産リスク 地震、火災、風水害（台風・大雨・土砂崩れ・洪水）等による災害が発生した場合に、当金庫が保有する建物、設備、什器・備品などの有形資産が、損害・損失を被るリスクをいいます。 ●風評リスク 当金庫の資産の健全性や収益力、自己資本などのリスク耐久力、規模、成長性、利便性など当金庫の評判を形成する内容が劣化し、顧客から見て当金庫への安心度、親密度が損なわれることにより生じた風評や、役職員自らの行為や第三者の行為により生じた風評の流布等によって、損失を被るリスクをいいます。 ●その他のリスク 上記区分に含まれない様々なリスク、例えば犯罪等の偶発的に発生する事故・事件等をいいます。

地域とともに
コーポレートデータ
業績のご報告（資料編）
営業のご案内

統合的リスク管理

当金庫では、把握可能なリスクの計量化に努め、その合計である統合リスク量が経営体力以内に収まるようリスクをコントロールすることで健全性を確保すること、及び配分されたリスク資本と結果としてのリターンを対比し、資本の効率的活用や収益性の向上を図ることを目的として、統合

的なリスク管理を行っております。

計測手法は、信用リスク及び市場リスクは VaR (バリューアット・リスク)、オペレーショナルリスクは基礎的手法を採用しております。

金融犯罪防止への取り組み

近年、預金口座を不正に利用する「振り込め詐欺」等や、偽造・盗難キャッシュカード、インターネットバンキングによる預金等の不正な払戻し等が社会問題となっております。こうした問題に対し、当金庫では、お客様に安心してご

利用いただけるよう、各種対策を講じ、セキュリティの向上に努めるとともに、お客様の立場に立った対応を一層強化してまいります。

「振り込め詐欺」等による口座不正利用への対応

- 預金口座開設時に、お客様のご本人確認を徹底しております。
- ATM 等で行われた取引について、不正取引のモニタリングを行っております。
- 万が一、預金口座の動き等が「疑わしい取引」と判断した場合は、迅速に監督官庁へ届け出ております。
- 警察、行政当局、ヤミ金融等被害者対策会議等に対し、積極的に協力のうえ、対応しております。
- 普通預金規程に基づき、偽名口座、借名口座、口座の譲渡が明らかになった場合、また、預金口座が法令や公序良俗に反する行為に利用され、もしくはその恐れがあると認められた場合等には、預金取引停止または口座解約を迅速かつ適切に実施しております。
- 携帯電話が還付金詐欺等に利用される事例が多発していることを受け、ATM コーナーでの携帯電話利用を制限させていただいております。

キャッシュカード、ATM等のセキュリティ対応

- キャッシュカードの磁気ストライプ上の暗証番号をクリア
- 窓口及び ATM でのキャッシュカードの暗証番号変更受付
- 偽造キャッシュカードの被害に遭われた方に真摯な対応と説明を行う体制の構築
- 日常のキャッシュカード管理の厳格化等について、ポスター、ホームページ等による啓発
- 1日あたりの ATM による引出限度額を 50 万円に一律引き下げ (IC キャッシュカードは 100 万円)
- キャッシュカードの暗証番号登録・変更時に「推測されやすい番号」を注意喚起するシステムの導入
- キャッシュカード偽造防止のための IC キャッシュカードの導入
- ATM による「異常な取引」をチェックする体制の構築
- ATM に覗き見防止フィルムの貼付け
- ATM に暗証番号入力時、テンキーナンバーのシャッフル化
- 後方確認ミラーの設置
- 詐欺被害防止のためキャッシュカードによる ATM 振込および現金出金の一部利用制限 (65 歳以上で過去 3 年以上キャッシュカードによる ATM 振込および ATM での現金出金の利用がない口座)

お知らせ

詐欺被害を防止するためキャッシュカードによる ATM 振込および ATM での現金出金の一部利用の制限を変更させていただきます。

福島県内の8信用金庫は、キャッシュカードを騙し取る「カード詐欺」や「還付金詐欺」等が急増していることから「詐欺被害」を防止するため、これまでの70歳以上の対象者を65歳以上に引下げさせていただきます。
これは、お客様の大切なご預金をお守りするために実施するものであり、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

対象のお客さま	65歳以上のお客さまで過去3年以上、キャッシュカードによる ATM 振込および ATM での現金出金のご利用がない口座をお持ちのお客さまは、ご利用を停止させていただきます。
変更日	令和4年4月20日(水)より
その他	対象口座をお持ちのお客さまがご利用を希望される場合は、営業時間内に窓口にお申し付けください。 本人確認のうえご利用が可能となります。



マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策

国際的な要請であり、金融機関等にとって喫緊の課題となっているマネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策について、経営陣の主導的な関与のもと、適切なリスク管理

態勢を構築するとともに、リスクベース・アプローチに基づくリスク低減措置を講じ、健全な金融システムを維持することに努めております。

お客様からの苦情・紛争等への対応

当金庫は、お客様からの苦情等のお申し出に迅速・公平かつ適切に対応するため、以下のとおり金融 ADR 制度も踏まえ、内部管理態勢等を整備して苦情等の解決を図り、もって当金庫に対するお客様の信頼性の向上に努めております。

苦情処理の措置

当金庫は、お客様からの苦情のお申し出に公正かつ適切に対応するため、業務運営体制・内部規則を整備しております。苦情等は、営業店または次の担当部署へお申し出ください。

あぶくま信用金庫 総務部

〒 975-0003 福島県南相馬市原町区栄町二丁目 4 番地
TEL (0244) 23-5132 FAX (0244) 24-1601

受付時間 当金庫営業日 9:00 ~ 17:00

受付媒体 電話、手紙、面談

全国しんきん相談所（一般社団法人全国信用金庫協会）

〒 103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
TEL (03) 3517-5825

受付時間 信用金庫営業日 9:00 ~ 17:00

受付媒体 電話、手紙、面談

紛争解決の措置

東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会（東京三弁護士会）が設置運営する仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、当金庫総務部または全国しんきん相談所へお申し出ください。なお、各弁護士会に直接申し立ていただくことも可能です。

東京三弁護士会

東京弁護士会紛争解決センター

〒 100-0013 東京都千代田区霞が関 1-1-3
TEL (03) 3581-0031

受付日 月～金（祝日、年末年始除く）

受付時間 9:30～12:00、13:00～16:00

第一東京弁護士会仲裁センター

〒 100-0013 東京都千代田区霞が関 1-1-3
TEL (03) 3595-8588

受付日 月～金（祝日、年末年始除く）

受付時間 10:00～12:00、13:00～16:00

第二東京弁護士会仲裁センター

〒 100-0013 東京都千代田区霞が関 1-1-3
TEL (03) 3581-2249

受付日 月～金（祝日、年末年始除く）

受付時間 9:30～12:00、13:00～17:00

各種方針・指針等

法令等遵守方針

当金庫は、地域金融機関として高い公共性と地域社会の発展に貢献するという重大な社会的責任（CSR）と使命を十分に認識し、地域社会から信頼される金庫経営を確立するため、「法令等遵守態勢」の確立を経営方針の柱の一つとして経営課題に掲げ、法令等遵守を重視した企業風土の醸成に努め、新たな法令や諸規則にも適切な対応を図るために、以下のような遵守方針を掲げ態勢強化に努めることとします。

1 法令等遵守に係る方針

1. 公共的使命・社会的責任の遂行

金融機関に求められる公共的使命と社会的責任を十分認識し、自己責任に基づく健全かつ適切な業務運営を通じて、社会から揺るぎない信用・信頼の確立を図る。

2. 法令やルールの厳格な遵守

あらゆる法令やルールを厳格に遵守するとともに、常に確固たる倫理観と正義感に基づいた誠実かつ公正な業務運営を図る。

3. 法令に準拠した規程等の整備と正確な事務処理

信用金庫法に掲げられた使命を遂行することにより社会的責任を全うし、地域社会に信頼される金融機関たるべく法令に準拠した事務取扱規程等を整備し、更にリスクに強い態勢を整えることによって正確な事務運営を図る。

4. 反社会的勢力の排除

社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては、確固たる信念をもってこれを排除する。

5. 不正行為の早期発見と是正

コンプライアンス違反行為の通報及び公益通報者保護法に基づく職員等からの組織的または個人的な法令違反行為等に関する相談・通報へ適切に対処するとともに、不正行為等の早期発見と是正を図る。

個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)

当金庫は、お客さまからの信頼を第一と考え、お客さまの個人情報および個人番号（以下「個人情報等」といいます。）の適切な保護と利用を図るために、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成 25 年 5 月 31 日法律第 27 号）および金融分野における個人情報保護に関するガイドライン、その他個人情報等保護に関する関係諸法令等を遵守するとともに、その継続的な改善に努めます。また、個人情報等の機密性・正確性の確保に努めます。

1. 個人情報とは

本プライバシーポリシーにおける「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であって「住所・氏名・電話番号・生年月日」等、特定の個人を識別することができる情報（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができるものを含みます。）、または「個人識別符号」が含まれる情報を含みます。なお、個人識別符号とは、以下のいずれかに該当するもので、政令等で個別に指定されたものをいいます。

(1) 身体の一部の特徴をコンピュータ処理できるような変換したデータ

〈例〉顔・静脈・声紋・指紋認証用データ等

(2) 国・地方公共団体等により利用者等に割り振られる公的な番号

〈例〉運転免許証番号、パスポート番号、個人番号（マイナンバー）等

2. 個人情報等の取得・利用について

(1) 個人情報等の取得

・当金庫は、あらかじめ利用の目的を明確にして個人情報等の取得をするとともに、偽りその他不正の手段により個人情報等を取得することはありません。また、金庫業務の適切な業務運営の必要から、お客さまの住所・氏名・電話番号、性別、生年月日などの個人情報の取得に加えて、融資のお申込の際には、資産、年収、勤務先、勤続年数、ご家族情報、金融機関でのお借入れ状況など、金融商品をお勧めする際には、投資に関する知識、ご経験、資産状況、年収などを確認させていただくことがあります。

・お客さまの個人情報は、①預金口座のご新規申込書等、お客さまにご記入・ご提出いただく書類等に記載されている事項②営業店窓口係や得意先係等が口頭でお客さまから取得した事項③当金庫ホームページ等の「お問い合わせ」等の入力事項④電子交換所等の共同利用者や個人信用情報機関等の第三者から提供される事項⑤その他一般に公開されている情報等から取得しています。

(2) 個人情報等の利用目的

・当金庫は、次の業務において、次の利用目的のために個人情報等を利用し、それ以外の目的には利用しません。個人番号については、法令等で定められた範囲内でのみ利用します。また、お客さまにとって利用目的が明確になるよう具体的に定めるとともに、取得の場面に応じ、利用目的を限定するよう努めます。

・お客さま本人の同意がある場合、もしくは法令等により開示・提供が求められた場合等を除いて、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

A. 個人情報（個人番号を含む場合を除きます）の利用目的

（業務内容）

①預金業務、為替業務、両替業務、融資業務、外国為替業務およびこれらに付随する業務

②公共債・投信販売業務、保険販売業務、金融商品仲介業務、信託業務、社債業務等、法令により信用金庫が営むことができる業務およびこれらに付随する業務

③その他信用金庫が営むことができる業務およびこれらに付随する業務（今後取扱いが認められる業務を含む）

（利用目的）

①各種金融商品の口座開設等、金融商品やサービスの申込の受付のため

②法令等に基づくご本人さまの確認等や、金融商品やサービスをご利用いただく資格等の確認のため

③預金取引や融資取引等における期日管理等、継続的なお取引における管理のため

④融資のお申込や継続的なご利用等に際しての判断のため

⑤適合性の原則等に照らした判断等、金融商品やサービスの提供にかかる妥当性の判断のため

⑥与信事業に際して当金庫が加盟する個人信用情報機関に個人情報を提供する場合等、適切な業務の遂行に必要な範囲で第三者に提供するため

⑦金融商品取引法に基づく有価証券・金融商品の勧誘・販売、サービスの案内を行うため

⑧お客さまに対し、取引結果、預かり残高などの報告を行うため

⑨他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため

⑩お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため

⑪市場調査、ならびにデータ分析やアンケートの実施等による金融商品やサービスの研究や開発のため

⑫ダイレクトメールの発送等、金融商品やサービスに関する各種ご提案のため

⑬提携会社等の商品やサービスの各種ご提案のため

⑭各種お取引の解約・終了やお取引解約・終了後の事後管理のため

⑮その他、お客さまのお取引を適切かつ円滑に履行するため

（法令等による利用目的の限定）

①信用金庫法施行規則第 110 条により、個人信用情報機関から提供を受けた資金需要者の借入金返済能力に関する情報は、資金需要者の返済能力の調査以外の目的に利用・第三者提供いたしません。

②信用金庫法施行規則第 111 条により、人種、信条、門地、本籍地、保健医療または犯罪経歴についての情報等の特別の非公開情報は、適切な業務運営その他の必要と認められる目的以外の目的に利用・第三者提供いたしません。

B. 個人番号の利用目的

①出資配当金の支払に関する法定書類作成・提供事務のため

②金融商品取引に関する口座開設の申請・届出事務のため

③金融商品取引に関する法定書類作成・提供事務のため

④金地金取引に関する法定書類作成・提供事務のため

⑤国外送金等取引に関する法定書類作成・提供事務のため

⑥非課税貯蓄制度等の適用に関する事務のため

⑦教育等資金非課税制度等に関する法定書類作成・提供事務のため

⑧預金口座付番に関する事務のため

上記の利用目的につきましては、当金庫のホームページの他、店頭掲示のポスター等でもご覧いただけます。

(3) ダイレクト・マーケティングの中止

・当金庫は、ダイレクトメールの送付や電話等での勧誘等のダイレクト・マーケティングで個人情報を利用することについて、お客さまから中止のお申出があった場合は、当該目的での個人情報の利用を中止いたします。中止を希望されるお客さまは、お取引店までお申出下さい。

3. 個人情報等の正確性の確保について

当金庫は、お客さまの個人情報等について、利用目的の達成のために個人データを正確かつ最新の内容に保つよう努めます。

4. 個人情報等の利用目的の通知・開示・訂正および利用停止等について

・お客さま本人から、当金庫が保有している情報について、当金庫所定の用紙により開示等のご請求（第三者提供記録の開示も含みます。）があった場合には、請求者をご本人であること等を確認させていただいて、遅滞なくお答えします。

・お客さま本人から、当金庫が保有する個人情報等の内容が事実でないという理由によって当該個人情報等の訂正、追加、削除のご要望があった場合には、遅滞なく必要な調査を行ったうえで、個人情報等の訂正等を行います。なお、調査の結果、訂正等を行わない場合には、その根拠をご説明させていただきます。

・お客さま本人から、法令の定めるところにより、当金庫が保有する個人情報等の利用停止または消去のご要望があった場合には、遅滞なく必要な調査を行ったうえで利用停止または消去を行います。なお、調査の結果、利用停止または消去を行わない場合には、その根拠をご説明させていただきます。

・お客さまからの個人情報等の利用目的の通知並びに個人情報等の開示及び第三者提供記録の開示のご請求については、所定の手数料をお支払いいただきます。

以上のとおり、お客さまに関する情報の開示・訂正等、利用停止等が必要な場合は、お取引店までお申出下さい。必要な手続きについてご案内させていただきます。

5. 個人情報等の安全管理について

当金庫は、お客さまの個人情報等の漏えい、滅失、または毀損の防止その他の個人情報等の適切な管理のために必要な措置を講じます。

当金庫における個人データの安全管理措置に関しては、当金庫の内部規程等において定めておりますが、主な内容は以下のとおりです。

(1) 個人データの適正な取扱いの確保のため、関係法令・ガイドライン等を遵守するとともに、個人データの取扱いに関するご質問・相談および苦情を受け付けています。

(2) 取得、利用、保管、移送、消去・廃棄等の段階ごとに、取扱方法、責任者・取扱者およびその任務等について定めています。

(3) 個人データの取扱いに関する責任者を設置するとともに、個人データを取り扱う職員および当該職員が取り扱う個人データの範囲を明確化し、法令等や内部規程等に違反している事実またはそのおそれ把握した場合の報告連絡体制を整備しています。また、個人データの取扱状況について、定期的な自己点検を実施するとともに、内部監査部門による監査を実施しています。

(4) 個人データの取扱いに関する留意事項について、職員に定期的な研修を実施しています。

(5) 個人データを取り扱う区域において、職員の入退室管理および持ち込み機器等の制限を行うとともに、権限を有しない者による個人データの閲覧を防止する措置を実施しています。また、個人データを取り扱う機器、電子媒体および書類等の盗難または紛失等を防止するための措置を講じるとともに、当該機器、電子媒体等から容易に個人データが判明しないよう措置を実施しています。

(6) アクセス制御を実施して、取扱者および取り扱う個人情報データベース等の範囲を限定しています。また、個人データを取り扱う情報システムを外部からの不正アクセスまたは不正ソフトウェアから保護する仕組みを導入しています。



(リンクについて)

当金庫のウェブサイトには、外部サイトへのリンクがあります。リンク先のウェブサイトは当金庫が運営するものではありませんので、お客様の個人情報等の保護についての責任はリンク先にあります。

6. 委託について

当金庫は、例えば、次のような場合に、個人データの取扱いの委託を行っています。また、委託に際しましては、お客さまの個人情報等の安全管理が図られるよう委託先を適切に監督いたします。

- ・キャッシュカード発行・発送に関わる事務
- ・定期預金の期日案内等の作成・発送に関わる事務
- ・ダイレクトメールの発送に関わる事務
- ・情報システムの運用・保守に関わる業務

7. 個人データの第三者提供について

当金庫は、お客さまから同意を得て、個人データの第三者提供を行う場合には、あらかじめ、提供先の第三者、当該第三者における利用目的、提供する個人データの項目等をお示し、原則として書面(電磁的記録を含みます)にて同意をいただくこととします。また、その提供先が外国にある第三者の場合には、上記取扱いに加え、法令等の定めるところにより、あらかじめ、①提供する第三者が所在する外国の名称、②当該外国の個人情報の保護に関する制度に関する情報、③提供先の第三者が講ずる個人情報の保護のための措置に関する情報一等について情報提供いたします。

※同意の確認をする時点で、提供先の第三者が所在する外国が特定できない場合には、特定できない旨及びその具体的な理由等について、また、提供先の第三者が講ずる個人情報の保護のための措置について情報提供できない場合には、情報提供できない旨及びその理由等について情報提供します。この場合、事後的に提供先の第三者が所在する外国を特定できた場合には上記①・②の事項について、事後的に提供先の第三者が講ずる個人情報の保護のための措置等についての情報提供が可能となった場合には上記③の事項について、お客さまのご依頼に応じて情報提供いたしますのでお申し出ください(ただし、当金庫の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合等を除きます)。

8. 個人情報保護に関する質問・苦情・異議の申し立てについて

当金庫は、個人情報等の取扱いに係るお客さまからの苦情処理に適切に取組みます。なお、当金庫の個人情報等の取扱いに関するご質問・苦情の申し立てにつきましては、お取引店または下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先 総務部 TEL (0244) 23-5132

金融業務における個人番号及び特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針

当金庫は、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(以下「法」といいます。)等に基づき、次のとおり、お客様の個人番号及び個人番号をその内容に含む個人情報(以下「特定個人情報」といいます。)の取扱いに関する基本方針を定め、公表します。

1. 関係法令・ガイドライン等の遵守

当金庫は、お客様の特定個人情報等を取り扱うにあたり、法及び「個人情報の保護に関する法律」をはじめとする関係法令・ガイドライン等、当金庫が、策定し別途公表している個人情報保護宣言、当金庫の諸規程を遵守します。

2. 個人番号の利用目的

- ①当金庫は、お客様の個人番号を取得するにあたり、その利用目的を通知、公表または明示するとともに、その利用目的の達成に必要な範囲内においてこれを取扱いします。個人番号について、法で認められている利用目的以外では利用しません。
- ②当金庫の個人番号の利用目的について、以下にて公表します。
 - ・当金庫ホームページ
 - ・当金庫営業店に備え付けのパンフレット

3. 安全管理措置

当金庫は、お客様の特定個人情報等について、漏洩、滅失または毀損の防止等、その管理のために必要かつ適切な安全管理措置を講じます。また、特定個人情報等を取り扱う従業員や委託先(再委託先等を含みます。)に対して、必要かつ適切な監督を行います。

4. 継続的改善

当金庫は、お客様の特定個人情報等の取扱い等について継続的な改善に努めます。

5. 照会・苦情等へのご対応

当金庫の特定個人情報等に関する照会や苦情につきましては、下記の窓口にお問い合わせください。

お問い合わせ先 事務部事務管理課 TEL (0244) 23-5132

利益相反管理方針

当金庫は、信用金庫法及び金融商品取引法等を踏まえ、お客様との取引にあたり、本方針及び当金庫が定める庫内規程に基づき、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理(以下「利益相反管理」といいます。)し、もってお客様の利益を保護するとともに、お客様からの信頼を向上させるため、次の事項を遵守いたします。

1. 当金庫は、当金庫がお客様と行う取引を対象として利益相反管理を行います。
2. 当金庫は、以下に定める取引を利益相反管理の対象とします。
 - (1)次に掲げる取引のうち、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引
 - ①当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様と行う取引
 - ②当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様と対立または競合する相手と行う取引
 - ③当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様から得た情報を不当に利用して行う取引
 - (2)①から③のほかお客様の利益が不当に害されるおそれのある取引
3. 当金庫は、利益相反管理の対象となる取引について、次に掲げる方法その他の方法を選択し、またこれらを組み合わせることにより管理します。
 - ①対象取引を行う部門とお客様との取引を行う部門を分離する方法
 - ②対象取引またはお客様との取引の条件または方法を変更する方法
 - ③対象取引またはお客様との取引を中止する方法

- ④対象取引に伴い、お客様の利益が不当に害されるおそれがあることについて、お客様に適切に開示する方法
4. 当金庫は、営業部門から独立した管理部の設置及び責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定及び利益相反管理を一元的に行います。また、当金庫は、利益相反管理について定められた法令及び庫内規程等を遵守するため、役職員等を対象に教育・研修を行います。
5. 当金庫は、利益相反管理態勢の適切性及び有効性について定期的に検証します。

金融商品に係る勧誘方針

当金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等に際しては、次の事項を遵守し、勧誘の適正の確保を図ることとします。

1. 当金庫は、お客様の知識、経験、財産の状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、適正な情報の提供と商品説明をいたします。
2. 金融商品の選択・購入は、お客様ご自身の判断によってお決めいただけます。その際、当金庫は、お客様に適正な判断をしていただくために、当該金融商品の重要事項説明について説明をいたします。
3. 当金庫は、誠実・公平な勧誘を心掛け、お客様に対し、事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて役職員の知識の向上に努めます。
4. 当金庫は、お客様にとって不都合な時間帯や迷惑な場所での勧誘は行いません。
5. 金融商品の販売等に係る勧誘について、ご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせください。

保険募集指針

- 当金庫は、以下の「保険募集指針」に基づき、適正な保険募集に努めてまいります。
- 当金庫は、保険業法をはじめとする関係法令等を遵守いたします。万一、法令等に反する行為によりお客様に損害を与えてしまった場合には、募集代理店として販売責任を負います。
 - 当金庫は、お客様に引受保険会社名をお知らせするとともに、保険契約を引受け、保険金等をお支払いするのは保険会社であること、その他引受保険会社が破たんした場合等の保険契約に係るリスクについて適切な説明を行います。
 - 当金庫は、取扱い保険商品の中からお客様が適切に商品をお選びいただけるように情報を提供いたします。
 - 当金庫は、取扱商品から募集人が予め定めた推奨基準・理由に基づき選択した商品をご提案する場合は、その基準・理由を適切にご説明いたします。
 - 当金庫の取扱商品のうち、「個人年金保険※・一時払終身保険※・住宅関連の長期火災保険・債務返済支援保険・積立傷害保険(年金払を含む)」を除く保険商品につきましては、法令等により以下のとおりご加入いただけるお客様の範囲や保険金額等に制限が課せられています。(※の保険商品は、個人契約の場合のみ(以下同じ))
- (1)保険契約者・被保険者になる方が下記のいずれかに該当する場合には、当金庫の会員の方を除き、制限の課せられている保険商品をお取扱できません。

- ①当金庫から事業性資金の融資を受けている法人、その代表者・個人事業主の方(以下、総称して「融資先法人等」といいます)
- ②従業員数が20名以下の「融資先法人等」の従業員・役員の方

- (2)「上記(1)に該当する当金庫の会員の方」「従業員数が21名以上の融資先法人等の従業員・役員の方」が保険契約者となる「個人年金保険・一時払終身保険を除く生命保険商品・傷害保険を除く第三分野の保険商品(医療保険等)」の契約につきましては、保険契約者一人あたりの通算保険金額その他の給付金合計額(以下「保険金額等」といいます。)を次の金額以下に限定させていただきます。
- ・生存または死亡に関する保険金額等：1,000万円
 - ・疾病診断、要介護、入院、手術等に関する保険金額等
 - ①診断等給付金(一時金形式)：1保険事故につき100万円
 - ②診断等給付金(年金形式)：月額換算5万円
 - ③疾病入院給付金：日額5千円【特定の疾病に限られる保険は1万円】※合計1万円
 - ④疾病手術等給付金：1保険事故につき20万円【特定の疾病に限られる保険は40万円】※合計40万円
- 当金庫は、ご契約いただいた保険契約の内容や各種手続き方法に関するご照会、お客様からの苦情・ご相談等の契約締結後の業務にも適切に対応いたします。なお、ご相談内容によりましては、引受保険会社所定の連絡窓口へご案内、または保険会社と連携してご対応させていただく場合がございます。
- 当金庫は、保険募集時の面談内容等を記録し、保険期間が終了するまで適切に管理いたします。また、お客様から寄せられた苦情・ご相談等の内容は記録し、適切に管理いたします。

反社会的勢力に対する基本方針

当金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力との関係を遮断するため、以下のとおり「反社会的勢力に対する基本方針」を定め、これを遵守します。

1. 当金庫は、反社会的勢力との取引を含めた関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。
2. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対し、職員の安全を確保しつつ組織として対応し、迅速な問題解決に努めます。
3. 当金庫は、反社会的勢力に対して資金提供、不適切・異例な取引及び便宜供与は行いません。
4. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力追放運動推進センター、弁護士などの外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。
5. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗措置を講じる等、断固たる態度で対応します。

総代会制度について

総代会は、重要事項を決議する最高意思決定機関です。会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されております。

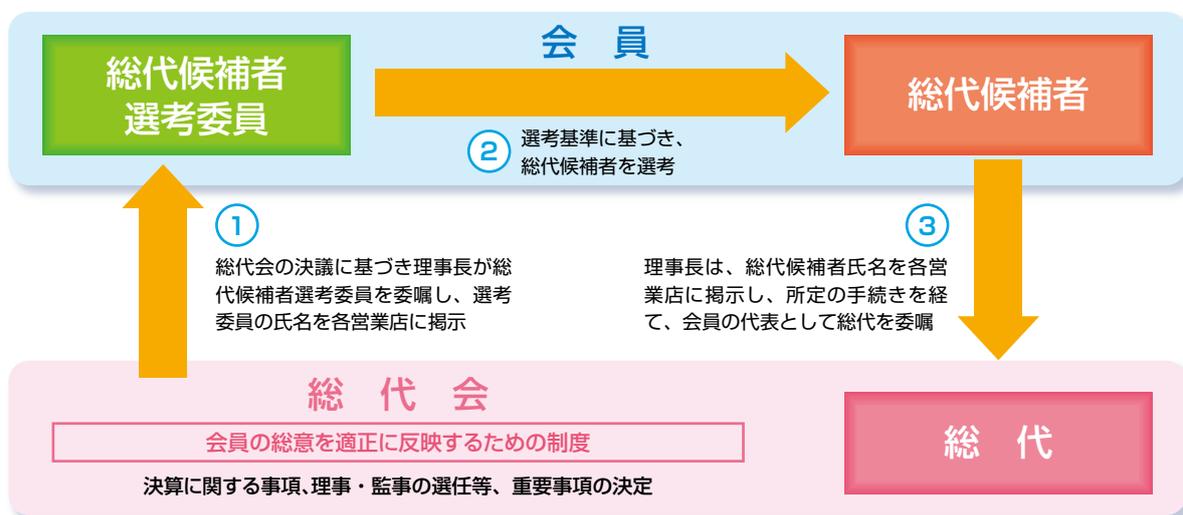
信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫では、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選

任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。



総代とその選任方法

1. 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
 - 総代は、その就任時点で満74歳を超えていない者です。
 - 総代の定数は70人以上100人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
- なお、令和5年7月16日現在の総代数は100人、令和5年3月31日現在の会員数は10,742人です。

2. 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準^(注1)に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。^(注2)
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する。
(異議があれば申し立てる)

(注1) 総代候補者の選考基準

1. 総代候補者は当金庫の会員でなければならない。
2. 総代候補者の選考基準は次のとおりとする。
 - ① 総代としてふさわしい見識を有している者
 - ② 良識を持って正しい判断ができる者
 - ③ 人格に優れ、金庫の理念・使命を十分理解している者
 - ④ その他選考委員が適格と認めた者

(注2) 選考委員の選考基準

1. 総代候補者選考委員は、当金庫の会員でなければならない。
2. 総代候補者選考委員の選考基準は次のとおりとする。
 - ① 地域における信望が厚く、信用金庫の使命を十分理解している者
 - ② 地域の事情に明るく、人格、識見ともに優れている者
 - ③ その他金庫が適格と認めた者



総代会の決議事項

総代会

令和5年6月16日、第73期通常総代会を開催し、次の事項について報告ならびに付議され、それぞれ原案のとおり承認されました。



● 報告事項

(1)第73期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)
業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

● 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款第15条に基づく会員の除名に関する件
- 第3号議案 定款一部変更の件
(1)従たる事務所の所在地変更に関する件
(2)役員の定数変更に関する件
- 第4号議案 監事の報酬額改定の件
- 第5号議案 理事選任の件
- 第6号議案 監事選任の件
- 第7号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

総代の氏名等

(令和5年7月16日現在)

区	総代数	区域別の構成比(%)	氏名 (敬称略、五十音順)
第1区 (南相馬地区)	47名	47.0	本店営業部 25名 石川 俊①・太田由美子②・大和田 亨②・片山 高明⑩・鎌田 淳一⑤・清信 正幸①・齋藤 健一④・佐藤 彬成①・庄司 岳洋⑤・鈴木 昌一⑩・関場 直隆②・相馬ガスホールディングス(株)②・高橋 隆助⑥・中島 照夫⑥・林 洋平②・前田 一男④・松本 亮真②・武者 浩幸⑥・森 大輔④・森岡 宏二②・諸井 道雄③・谷田部真敏①・横山真由美④・渡邊 光貴①・渡部 武裕③
			小高支店 10名 鎌田 淳②・佐々木貞雄④・佐藤大二郎②・志賀 貴幸③・林 靖④・松井 亮①・三上 隆③・村上 輝実②・横川 裕信①・和田 智行①
			東支店 9名 井上 禄也②・遠藤 充洋④・鈴木 規義⑧・武田 重成②・但野 英治④・田原 義久⑥・(福)南相馬福祉会③・森 里枝④・(株)モンマ①
			飯館支店 3名 北原 博史①・齋藤 達夫③・濱田 光弘④
第2区 (福島地区)	3名	3.0	浪江・大熊支店 3名 鈴木 充男⑤・戸川 聡④・林 富士雄④
第3区 (浪江地区)	11名	11.0	浪江支店 8名 朝田 英洋③・石田 全史①・泉田 征慶⑦・叶 経道⑨・下河邊行高⑥・鈴木 仁根②・前司 昭一⑤・横山建設(株)① 双葉支店 3名 伊藤 哲雄②・田中 清明①・吉田 知成①
第4区 (いわき地区)	22名	22.0	富岡支店 6名 猪狩 昭彦④・坂本 邦仁⑩・鈴木 洋一④・西山由美子④・早川 恒久⑥・渡辺 史③
			広野支店 4名 猪狩 和見④・大和田幹雄③・吉田 淳也①・吉田 稔④
			久之浜支店 2名 木村謙一郎④・白土 哲也⑧
			夜の森支店 3名 鹿島 栄子④・鹿股 亘①・(福)福島県福祉事業協会⑤
			大熊支店 1名 井上 文博⑩
第5区 (相馬地区)	17名	17.0	いわき支店 6名 岩本 哲児③・大越 俊正④・白岩不二男③・鈴木 健一③・(医)博文会②・半谷 正彦② 相馬支店 8名 伊藤 昇市②・太田 弘一②・(株)小野中村②・豊田 英樹①・平間 武義⑧・プレスコ(株)②・鈴木 祐治③・若竹 信雄② 新地支店 4名 遠藤 満④・齋藤 利宏③・目黒 博樹④・目黒 一雅① 亘理支店 5名 石垣 泰彦①・門澤 俊夫③・齋藤 忠良⑧・日幸電機(株)③・安田 健②
合計	100名	100.0	

※丸数字は総代の就任回数です。

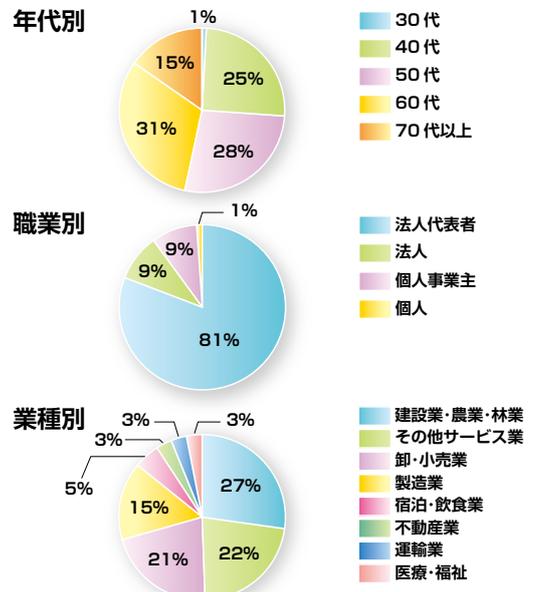
当金庫の地区を5区の選任区域に分け各選任区域ごとに総代の定数を定めております。

1. 総代候補者選考委員の選任 ① 総代会の決議により、選任区域ごとに会員の中から選考委員を委嘱
② 選考委員の氏名を店頭に掲示

2. 総代候補者の選考 ① 選考委員が総代候補者を選考
② 理事長に報告
③ 総代候補者の氏名を1週間以上店頭掲示
④ 上記提示について福島民報に公告 ※異議申出期間(公告後2週間以内)

3. 総代の選任
会員から異議がない場合、または選任区域の会員数の1/3未満の会員から異議の申出があった総代候補者
選任区域の会員数の1/3以上の会員から異議の申出があった総代候補者
該当総代候補者が選任区域の総代定数の1/2以上
当該総代候補者が選任区域の総代定数の1/2未満
(a・bいずれかを選択)
a 他の候補者を選考
b 欠員(選考を行わない)
理事長は総代に委嘱
総代の氏名を店頭に1週間以上掲示
(※上記2以下の手続きを経て)

総代の年代別・職業別・業種別構成比



※年代別の構成比は法人を、業種別の構成比は個人を除きます。

地域とともに

コーポレートデータ

業績のご報告(資料編)

営業のご案内